

## ⑩七里が浜楓幼稚園 1969(S44)年～

この年 2 月、学校法人として認可される。七里が浜の海と山があり、恵まれた自然環境の明るい丘の上(七里が浜東 3-13-12)に、広々とした園舎がある。

2018(H30)年創立 50 周年を迎えた。

「よい環境 よい保育 “大切にしたい笑顔と成長”」を掲げ、キリスト教精神に基づく保育を 2 歳から 6 歳までの幼児期に、一人ひとりへの細やかな対応、よい教師とよい仲間にも恵まれることを大切にしている。

教育理念は、家庭との連携、親同士の連携。特に 06 年発足の「かえで papas」は父親同士の連携で幼稚園行事をバックアップし、家族全員の楽しさが伝わってくる。運動会はもとより、各種の子育て支援のセミナーに父親も参加する。16 年 12 月 8 日「地域支援活動」団体として文部科学大臣から表彰を受ける。

教育の特徴は、「生きる力を強める」で、子どもが大きくなろうとする生命力を養い、毎日通う園で子ども自身が主体となる目標に向けた経験や体験を積む時間が十

分にある。

教育の内容は、しなやかで豊かな人間性・知性を育み、感じる心を作り、一方遊びの時間、発表の時間、モンテッソーリの時間、体操の時間、創作の時間など日々の活動の中では自分自身で考え、試す、聞く、話す、創造する、表現していく姿勢を養っている。

そして、なによりこの年齢は動くからだを作る時期でもあり、かけっこ、鬼ごっこ、すべる、ボール遊び、飛ぶ、漕ぐなどの動きは講師による体育指導があり、仲間と共に動く体を子どもたちは実感している。

園長先生と共に園内を歩くと、保育の時間はとうに過ぎてはいたが、幼稚園認定こども園としての機能もあり、はつらつとした子どもの姿と対話を楽しんだ。

初めて見るモンテッソーリの部屋は驚きで、わたしも園に通いこの部屋で遊びたいと思った。

\*モンテッソーリ教育とは、110年以上前にイタリアの医師で教育家のマリア・モンテッソーリ博士によって考案された教育法。子どもを観察する中で、子ども自ら必要な時期に環境から学んで育つ力があることに着目し、その自発的成長を助けるための教育法を確立した。



モンテッソーリの部屋で